

オープンサイエンスを推進するデータ基盤とその利活用に関する検討委員会
(第25期・第4回)

議事録

1. 日時 令和3年11月9日(火) 16:00-18:20

2. 会場 オンライン開催(ZOOM)

出席者(五十音順、敬称略): 相澤 清晴、秋葉 澄伯、安達 淳、大橋 弘美、
木部 暢子、喜連川 優、小林 武彦、小安 重夫、宍戸 常寿、澁澤 栄、
高木 利久、筑本 知子、寺崎 浩子、西田 眞也、仁科 弘重、林 和弘、
引原 隆士、菱田 公一、藤原 康弘、溝端 佐登史

参考人: 千葉 俊周 (国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、
脳情報通信総合研究所)、
生貝 直人 (一橋大学大学院法学研究科)、

オブザーバ: 竹谷 喜美江、吉田 幸苗、(NII)

3. 議題

- (1) 前回議事録確認
- (2) 講演1 コロナ禍がメンタルヘルスに及ぼす多面的な影響の検討
千葉 俊周 (国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 脳情報通信総合研究所)
- (3) 講演2 欧州におけるデータ共有政策の状況
生貝直人 (一橋大学大学院法学研究科)
- (4) 学術フォーラムの企画について
- (5) その他

4. 配布資料

資料1: 第3回議事要旨(案)

資料2-1、2-2: 千葉先生資料: コロナ禍がメンタルヘルスに及ぼす多面的な影響の検
討 ~データの解析により浮き彫りにした、コロナ禍における社会の心の
歪み~

資料3: 生貝先生資料: 欧州におけるデータ共有政策の状況

資料4: 学術フォーラム申請書(案)

5. 議事

- (1) (前回議事録の確認等) 定足数を満たし委員会の成立を確認した後、前回の議事録案を承認した。
- (2) (講演1) 千葉俊周先生から、コロナ禍における精神衛生上の症状や問題について広い観点からご講演いただいた後、質疑を行った。アンケートのデータ利用の契約、脳情報の利用方法、社会へのメッセージの送り方等について意見交換した。

- (3) (講演 2) 生貝直人先生から、欧州のデータ共有政策に関して包括的なご講演をいただいた後、質疑を行った。産業別の新しい動きや研究データとの関係などについて意見交換した。
- (4) (フォーラムの企画) 第4四半期に開催予定の学術フォーラムを申請するにあたり、その内容と進め方に関し意見交換した。すべての部から参加者を集められる講演を募り、12月末の幹事会に申請することを目処に作業を進めることになった。
- (5) (その他) 宍戸委員から依頼のあったアンケートに各委員が回答するよう、再度要請があった。学術フォーラム案の詳細化を委員長、副委員長、幹事に一任し、次回の委員会は12月中に開催することにした。

以上